

総論② 産業

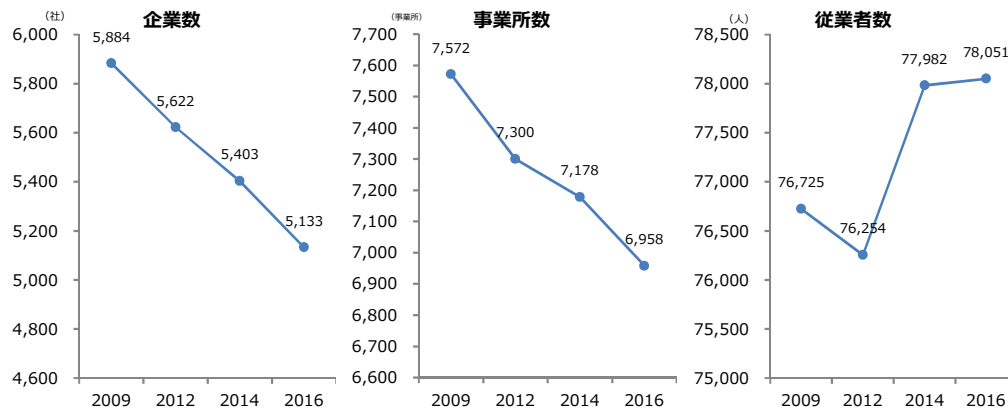
地域産業に関する全体的な傾向を、事業所数、従業者数、産業大分類別構成比等により概観します。

愛知県豊川市

①企業数・事業所数・従業者数の推移

産業構造マップ>全産業>企業数・事業所数・従業者数（事業所単位） → [「グラフを表示」](#)

・地域産業全体の推移を、企業数、事業所数、従業者数の推移により概観します。



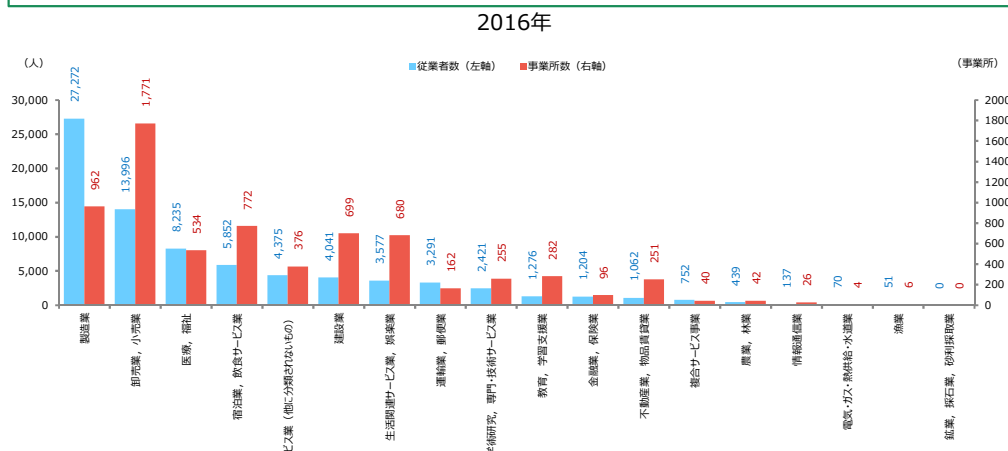
【出典】総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

【注記】企業数については、会社数と個人事業所を合算した数値。従業者数は事業所単位の数値。

③産業大分類別に見た従業者数（事業所単位）と事業所数

産業構造マップ>全産業>（事業所数・従業者数（事業所単位）） → [（ダウンロードデータより作成）](#)

・自地域の主要産業を産業大分類別の従業者数（事業所単位）および事業所数の観点から概観します。

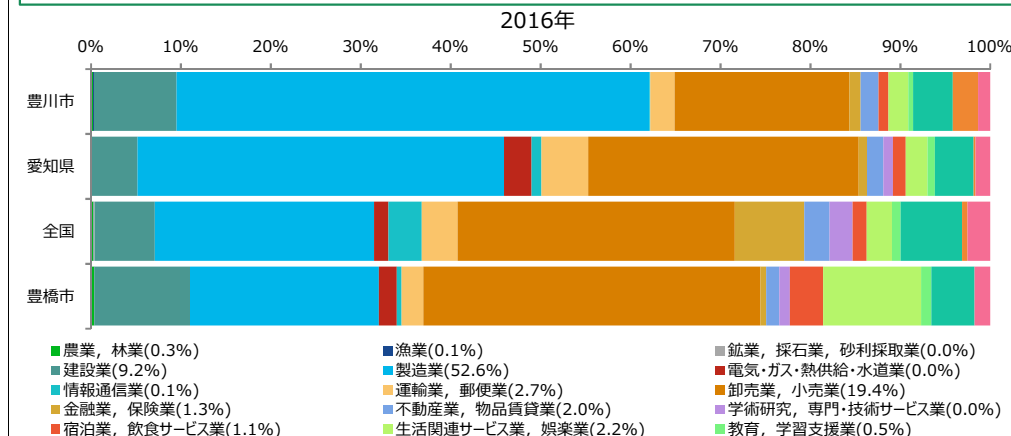


【出典】総務省「経済センサス基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

②産業大分類別に見た売上高（企業単位）の構成比

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → [「横棒グラフで割合を見る」](#)

・売上高（企業単位）について、産業大分類別の構成比を他地域と比較します。
・自地域において構成比の大きな産業、他地域と比較して構成比の小さな産業等、産業の特徴を概観できます。



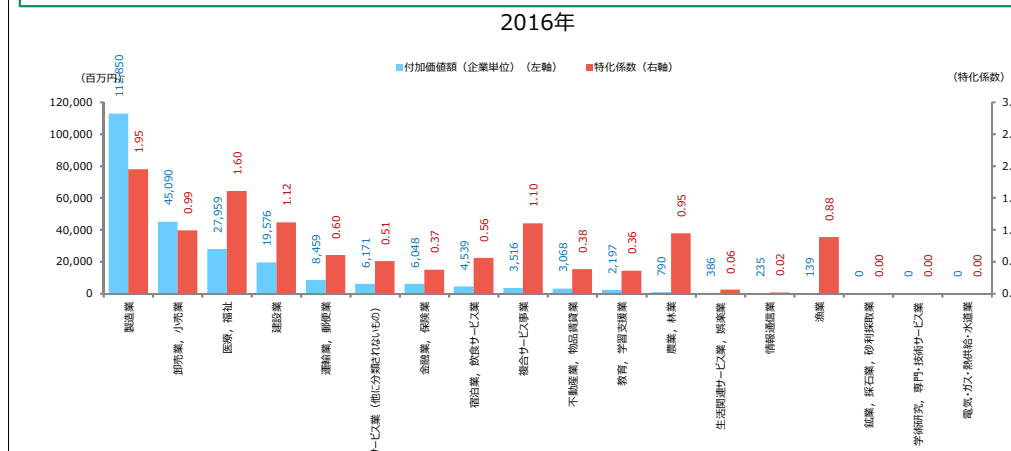
【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

【注記】凡例の数値は選択地域の数値を指す。

④産業大分類別に見た付加価値額（企業単位）

産業構造マップ>全産業>全産業の構造 → [（ダウンロードデータより作成）](#)

・付加価値額の面から、自地域において稼ぐ力の大きな産業を概観します。
・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

各論④ 産業特性（農業）

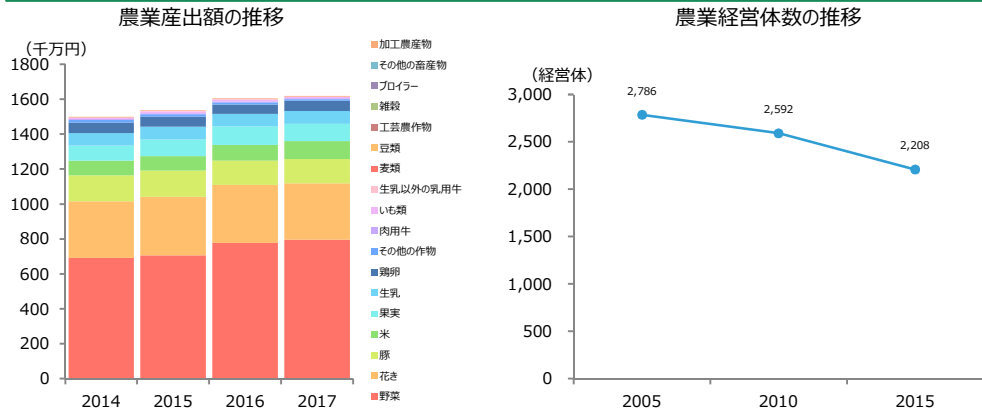
品目別農業産出額、就業人口、経営体規模等の観点から農業の特徴を概観します。

愛知県豊川市

① 農業産出額・農業経営体数の推移

産業構造マップ>農業>農業産出額 及び農地分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・農業産出額および農業経営体数の推移を表示しています。
- ・自地域における農業生産の拡大・縮小傾向を把握できます。

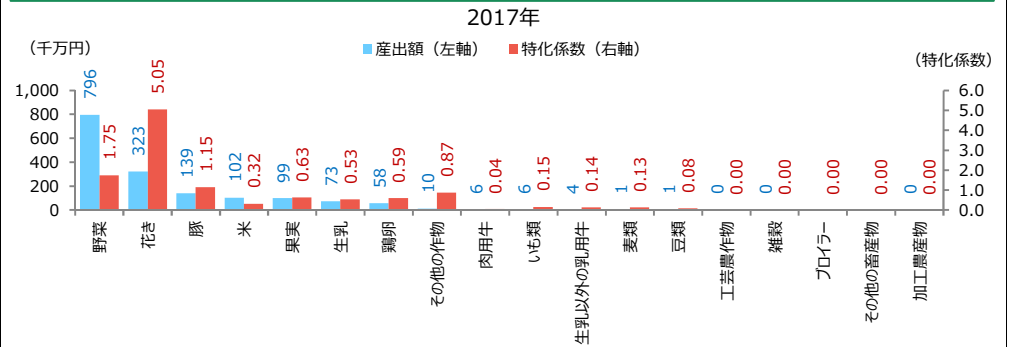


【出典】 農業産出額（都道府県単位） 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 農業産出額（市区町村単位） 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
 農業経営体数 農林水産省「農林業センサス」再編加工

② 品目別農業産出額

産業構造マップ>農業>農業産出額 → (ダウンロードデータより作成)

- ・品目別の農業産出額の構成比から、自地域において生産の大きな品目を概観します。
- ・産出額が大きく、かつ特化係数（自地域における品目Aの農業産出額構成比÷全国における品目Aの農業生産額構成比）も高い品目は、産出額・構成比の両面で特徴的な品目と言えます。

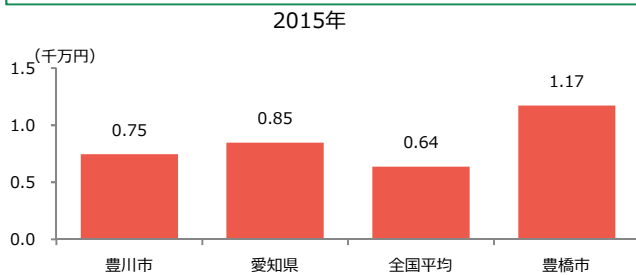


【出典】 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 市区町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
 【注記】 「その他の畜産物」には、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」及び「市町村別農業産出額（推計）」で示される「鶏」から「鶏卵」と「プロイラー」を減じた値を含む。

③ 経営体あたり農業産出額（地域間比較）

産業構造マップ>農業>農業産出額 → 「グラフを表示」

- ・経営体あたりの農業産出額を比較します。
- ・他地域と比較した自地域の農業の生産性の高低を概観できます。

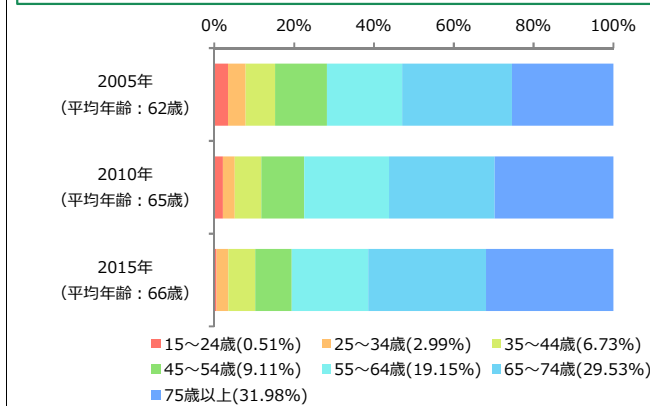


【出典】 農林水産省「農林業センサス」
 全国単位 農林水産省「農業総産出額及び生産農業所得」
 都道府県単位 農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」
 市区町村単位 農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
 【注記】 1 経営体あたり農業産出額は、農業産出額は農業経営体数（家族経営体、組織経営体の合計）で除した試算値である。
 農業経営体には、販売なしの経営体を含む。

④ 年齢階級別農業就業者比率と平均年齢

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・年齢階級別にみた農業就業者数を概観します。
- ・農業の担い手の高齢化等の状況を確認できます。

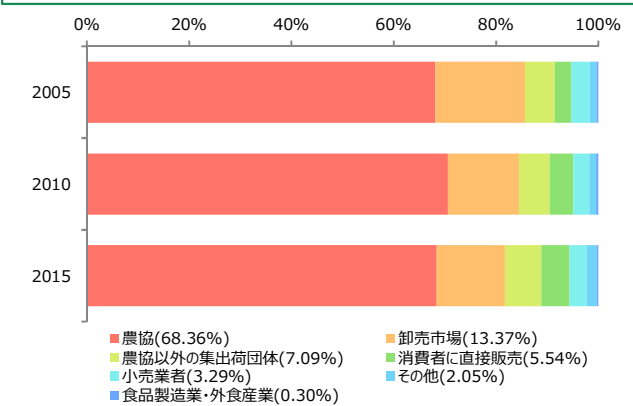


【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】 農業就業人口：農業従事者のうち、農業を主として従事した世帯員
 凡例の数値は最新年の数値を指す。

⑤ 農産物の出荷先別経営体数割合の推移

産業構造マップ>農業>農業者分析 → (ダウンロードデータより作成)

- ・農産物の出荷先別にみた経営体の構成比を比較します。
- ・自地域の農産物がどこに出荷されているかを概観できます。



【出典】 農林水産省「農林業センサス」再編加工
 【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

国では、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京一極集中」の是正を共に目指すため、次の4つの基本目標と2つの横断的な目標のもとに取り組むこととしています。さらに、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」2020改訂版では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の取組の今後の方向性が新たに示され、基本目標の施策に、「地方創生テレワークの推進」などが追加されました。また、「横断的な目標」には、地域におけるSociety5.0の推進として「スーパーシティ構想の推進など、地域におけるデジタル・トランスフォーメーション(DX)の活用による地域課題の解決」が明記されました。

【新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた地方創生の取組の今後の方向性】

- ①感染症による意識・行動変容を踏まえたひと・しごとの流れの創出
- ②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進

【基本目標1】

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

《政策目標》

- ◆地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
- ◆安心して働ける環境の実現

【基本目標2】

地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

《政策目標》

- ◆地方への移住・定着の推進…地方創生テレワークの推進など
- ◆地方とのつながりの構築…オンライン関係人口など、新たな関係人口の創出・拡大など

【基本目標3】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

《政策目標》

- ◆結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

【基本目標4】

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

《政策目標》

- ◆活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

【横断的な目標1】多様な人材の活躍を推進する
 ≪政策目標≫
 ・多様なひとひとの活躍による地方創生の推進
 ・誰もが活躍する地域社会の推進

【横断的な目標2】新しい時代の流れを力にする
 ≪政策目標≫
 ・地域におけるSociety5.0の推進…スーパーシティ構想の推進など、
地域におけるデジタル・トランスフォーメーションの活用による地域課題の解決
 ・地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

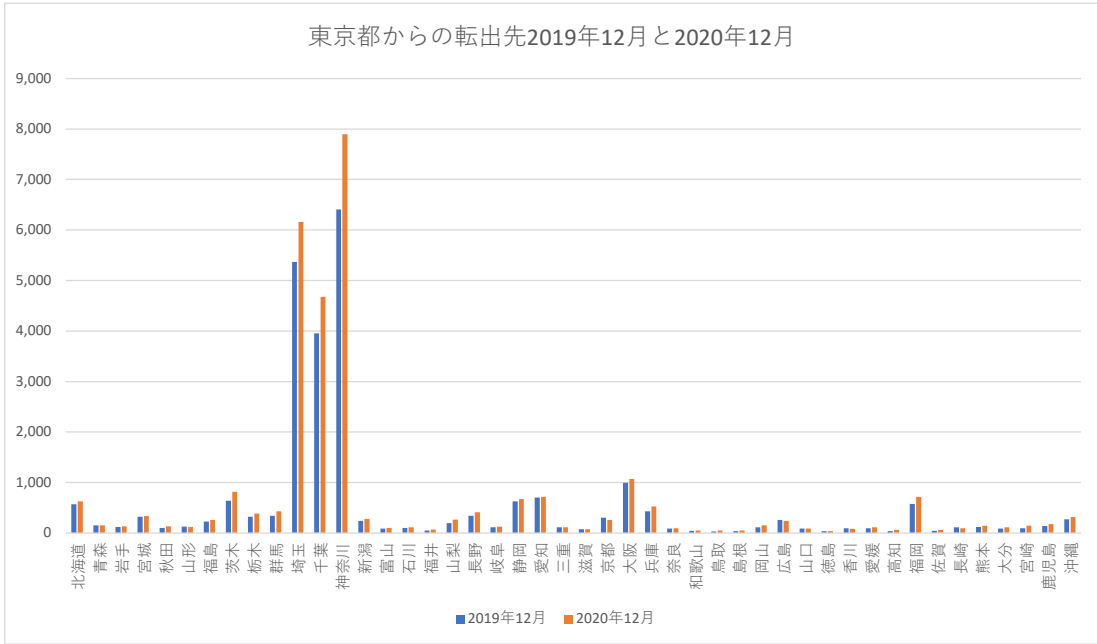
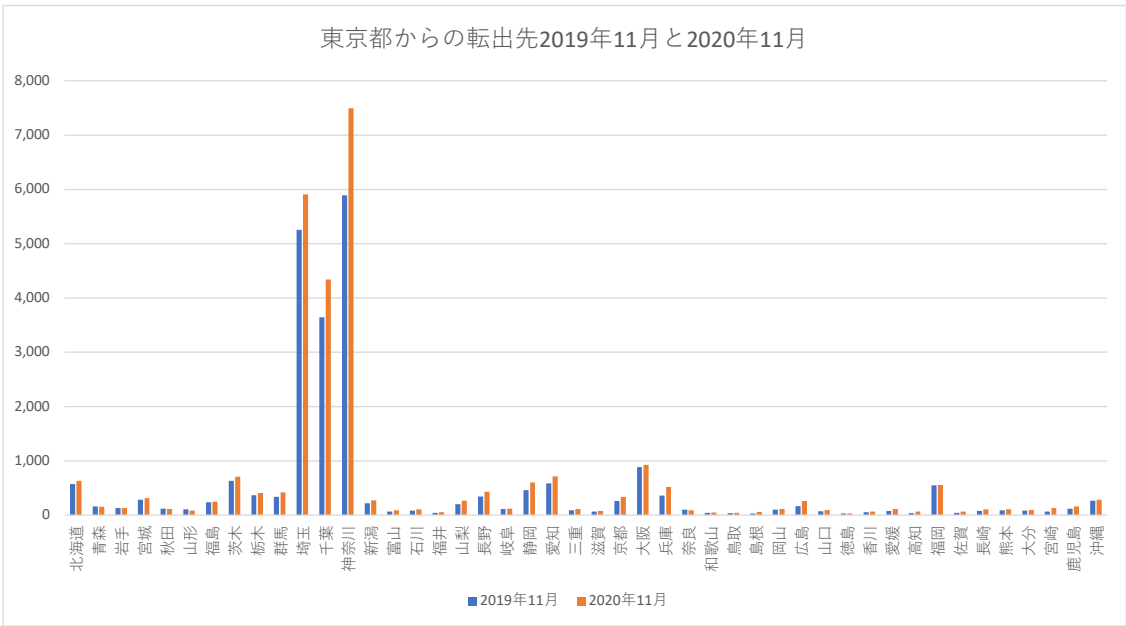
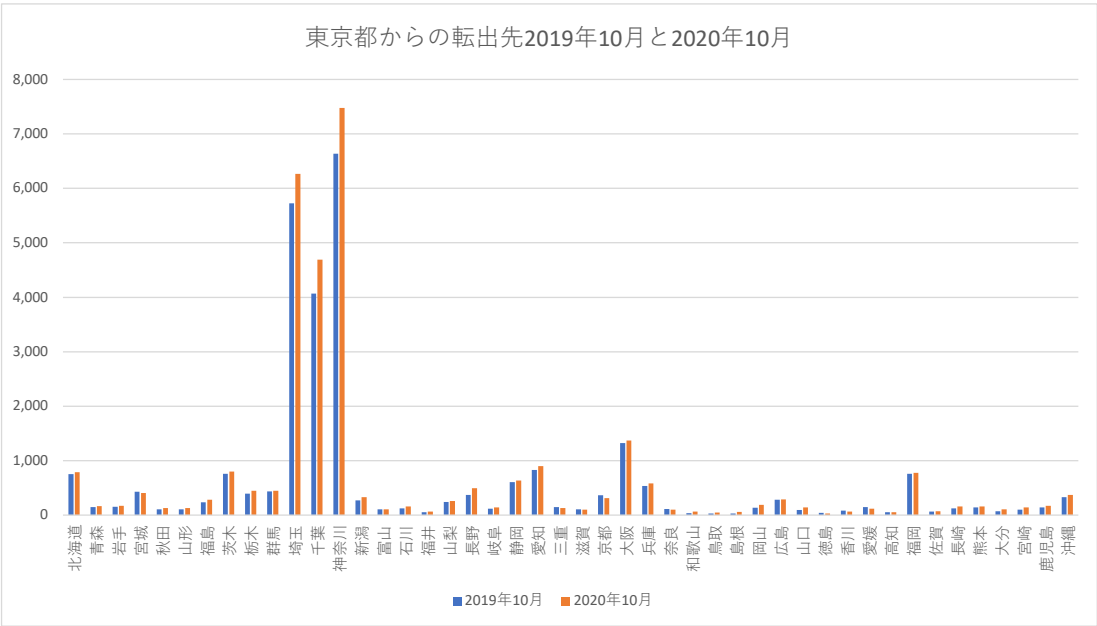
東京都からの転出先（都道府県別）

(人)

移動前の住所地 東京都	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	計
2019 年 10 月	753	149	154	431	109	104	238	760	394	435	5,728	4,066	6,636	271	109	126	53	242	372	120	605	828	145	105	368	1,322	536	112	35	33	28	136	281	94	43	82	147	51	761	67	123	139	73	100	143	329	27,936
2019 年 11 月	572	158	129	284	118	108	234	632	366	337	5,256	3,646	5,893	218	65	86	40	202	341	113	463	584	88	63	262	886	361	103	41	35	29	101	166	73	32	52	75	39	548	41	76	87	83	64	121	268	23,539
2019 年 12 月	572	149	118	320	99	125	225	636	323	344	5,370	3,956	6,407	242	87	100	50	194	343	115	628	704	111	74	301	991	432	87	43	29	37	112	256	85	40	94	91	40	574	46	112	117	87	94	140	272	25,372
2020 年 10 月	789	167	174	404	129	133	285	802	448	448	6,268	4,693	7,474	331	104	159	64	262	492	140	636	903	131	101	313	1,369	583	103	63	45	60	186	291	139	33	66	116	55	774	69	160	161	106	140	169	370	30,908
2020 年 11 月	632	153	133	315	115	84	249	706	406	420	5,911	4,341	7,496	274	87	108	51	265	429	118	604	717	113	76	334	927	521	89	48	40	57	115	261	95	33	68	110	68	558	84	109	107	95	131	158	286	28,077
2020 年 12 月	629	149	134	335	133	121	257	818	386	433	6,163	4,676	7,896	280	99	114	68	262	408	127	672	718	115	75	256	1,072	522	95	51	50	51	151	240	90	39	83	112	61	712	65	96	147	116	145	175	313	29,710

●東京都を除く東京圏（埼玉・千葉・神奈川）の、東京からの転出者数に占める割合

2019 年 10 月	58.81%
2019 年 11 月	62.85%
2019 年 12 月	62.01%
2020 年 10 月	59.64%
2020 年 11 月	63.21%
2020 年 12 月	63.06%



【考察】

- 東京からの転出者の転出先は、58%～63%が東京都を除く東京圏が占めている。
- この傾向、コロナ前の2019年とコロナ後の2020年と比較しても、ほとんど変わっていない。むしろ多少、2020年の方がその傾向が強くなっている。
- 2019年に比べて、2020年は東京からの転出者は3,000～5,000人規模で増加している。
- しかしその転出増加分のほとんどは、東京都を除く東京圏が吸収してしまっている。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=dataset&toukei=00200523&tstat=000000070001>

2 男女，移動前の住所地別都道府県間移動者数－都道府県， 3 大都市圏（東京圏，名古屋圏，大阪圏）， 21大都市（移動者）より抜粋

東京都及び東京都除く東京圏の、日本人・外国人別転入超過者数

(+は転入超過)

	R2.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	3-4~11-12合計
東京都日本人転入超過者数		38,242	24,061	△371	4,489	180	△4,465	△4,584	△4,333	△5,584	△8,050	47,635
東京都外国人転入超過者数		△7,411	△3,710	△3,034	△4,433	△6,083	△7,474	△6,089	△3,025	4,558	5,561	△36,701
東京都除く東京圏(＝神奈川・埼玉・千葉)日本人転入超過者数		△23,745	△22,894	4,398	△6,171	△919	4,409	5,418	3,940	3,616		
東京都除く東京圏(＝神奈川・埼玉・千葉)外国人転入超過者数		5,969	3,810	3,265	4,656	6,363	7,617	6,373	3,138	△5,071		

注)東京圏:東京都, 神奈川県, 埼玉県, 千葉県

<https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/juukim/2020/jm20010000.htm>

<https://www.stat.go.jp/data/idou/rireki/2010/index.html> 表3

